

取付業者の皆様へ
取付後、本書は必ず御施主様または御入居者様へお渡し下さい。

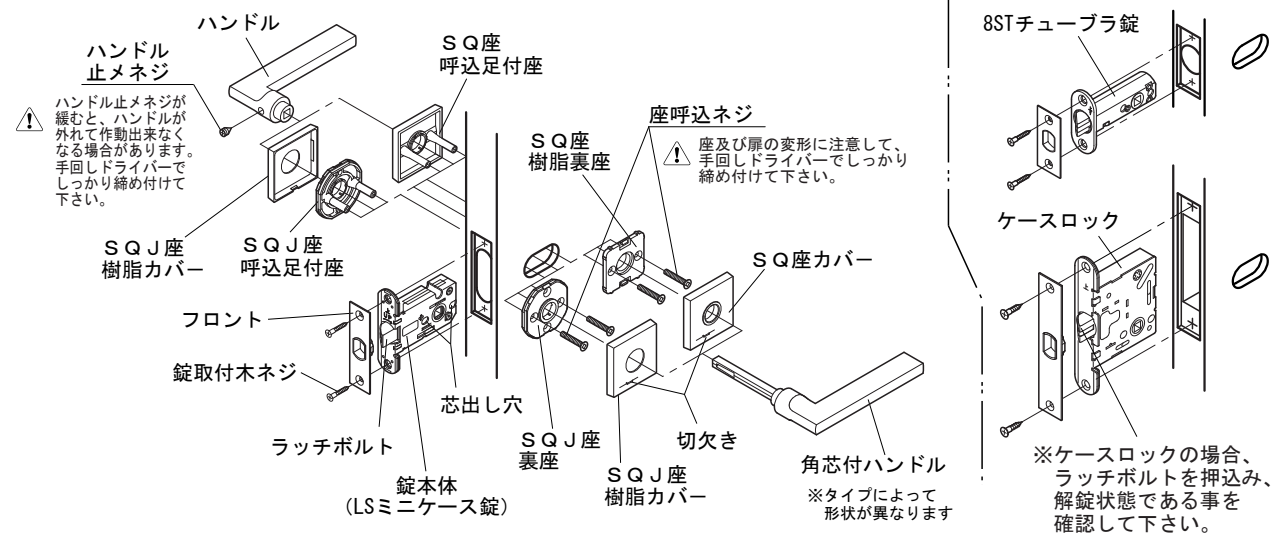
LSミニケース錠・8STチューブラ錠・ケースロック 仕様 SQ座・SQJ座・YB座 レバーハンドル錠 取付説明書

取付上の注意

電動ドライバーは使用しないで下さい。
責任施工を行い、トラブルの無い様ご注意ください。

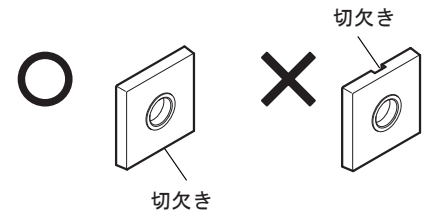
・ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良などを起します。
・ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いつれ外れてしまい、重大な事故へつながります。

一般住宅屋内専用
(浴室・商業施設等での使用不可)
※本製品は、一般住宅屋内専用です。玄関や屋外では使用しないで下さい。

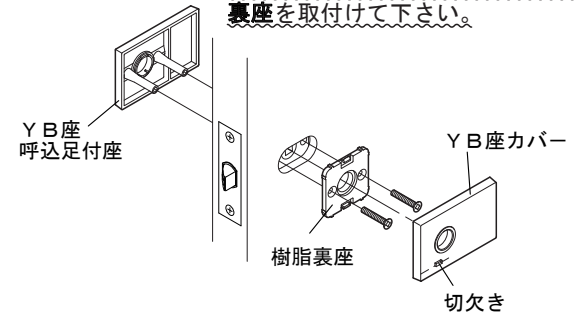


注意 座カバーの切欠きの向きにご注意下さい。

切欠きが下側になるように取付けて下さい。



YB座の場合、座カバーの切欠きが下側になるよう、戸先から見て右手側に樹脂裏座を取付けて下さい。



取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
2. 錠本体を刻印の向きに差込んで下さい。
3. ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから、錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
4. 呼込足付座を錠本体の芯出し穴に差込み、裏座と座呼込ネジで仮止めして下さい。
5. 芯出しのため、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締め付けて下さい。
6. ハンドルを一旦抜いてから、座カバーを切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジでしっかり固定して下さい。
8. ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。

取扱上の注意

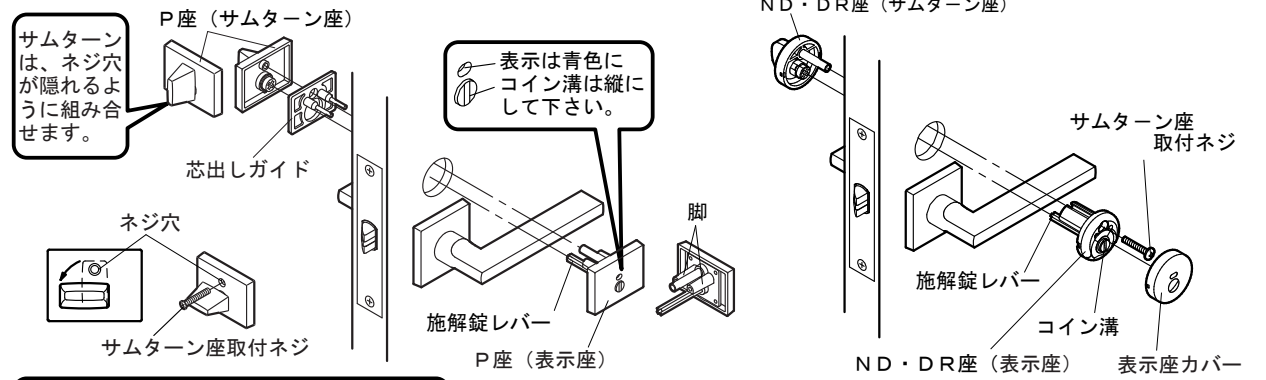
1. ネジがゆるんだ状態で使用していると、錠に負担がかかり扉が開かなくなる重大な事故になる場合があります。ネジの増し締めをお願いします。
2. レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

表面のお手入れについて

1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

ケースロック仕様 セパレート座 P座・ND座・DR座の取付

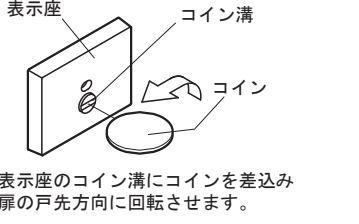
内締・表示錠の場合



組合せ後、サムターンを回し、ネジ穴にサムターン座取付ネジを通し、固定します。

1. 表示座の表示の青が上になるようにコイン溝を縦にして、施解錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。
P座の場合は芯出しガイドの脚を表示座の脚の穴に差し込みます。
内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を合わせます。
2. サムターン座取付ネジで固定して下さい。P座の場合、サムターンを回転させて、ネジ穴にサムターン座取付ネジを通し、固定します。
3. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認して下さい。
4. ND座・DR座の場合、表示座カバーを切欠きに合わせてはめ込んで下さい。

非常解錠方法



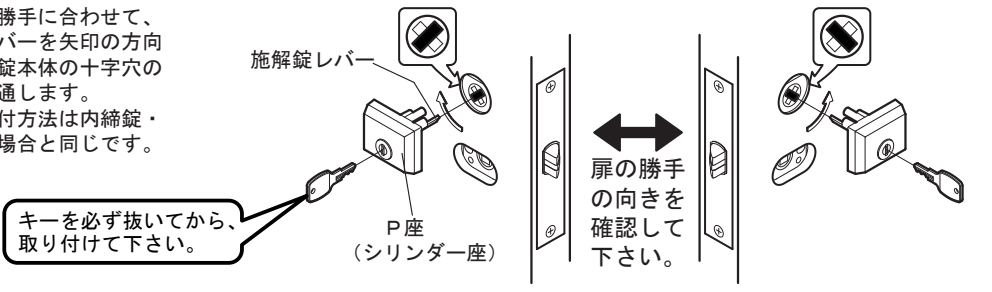
注意 シリンダー錠は、商業施設等の多頻度使用には適さない仕様です。それらの場所には別の物をご利用下さい。キーやシリンダーの磨耗で、正しく施解錠出来なくなることがあります。

P座シリンダー錠の場合

注意 施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。

1. キーをシリンダー本体から必ず抜いて下さい。
2. 扉の左右勝手に合わせて、施解錠レバーを矢印の方向に傾け、錠本体の十字穴の黒塗側に通します。
3. 以降の取付方法は内締錠・表示錠の場合と同じです。

十字穴の向きにご注意下さい。



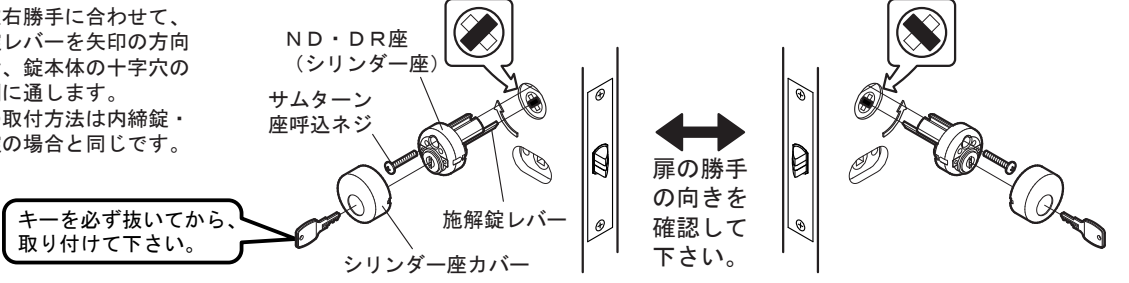
キーを必ず抜いてから、取り付けて下さい。

ND座シリンダー錠の場合

注意 施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。

1. キーをシリンダー本体から必ず抜いて下さい。
2. 扉の左右勝手に合わせて、施解錠レバーを矢印の方向に傾け、錠本体の十字穴の黒塗側に通します。
3. 以降の取付方法は内締錠・表示錠の場合と同じです。

十字穴の向きにご注意下さい。



キーを必ず抜いてから、取り付けて下さい。

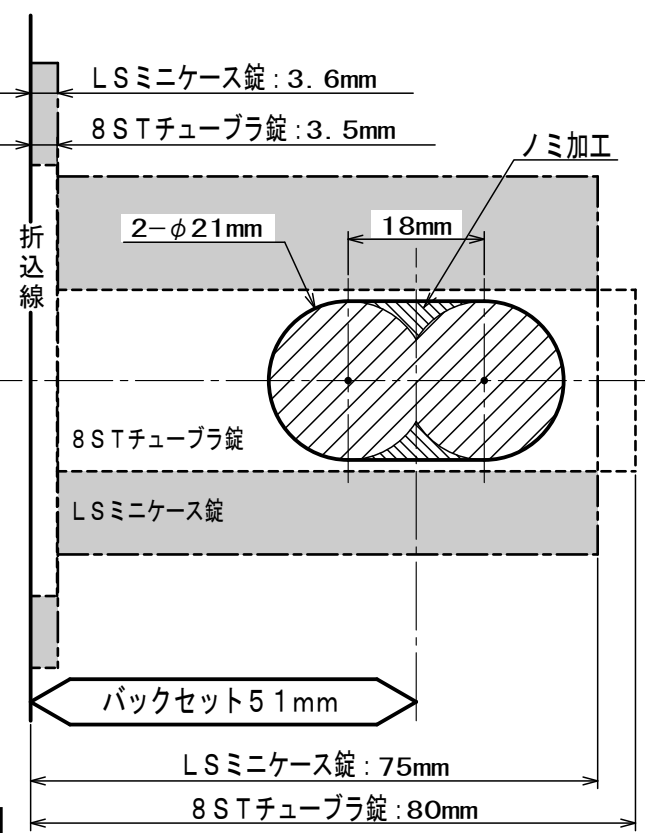
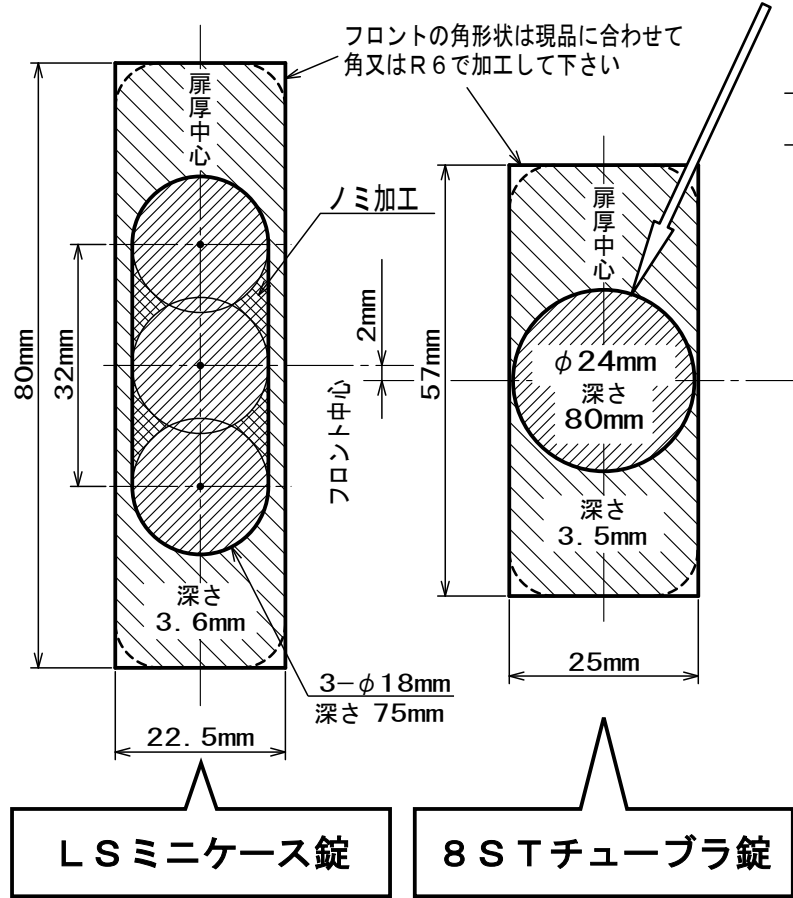
注意 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認して下さい。

取付型紙

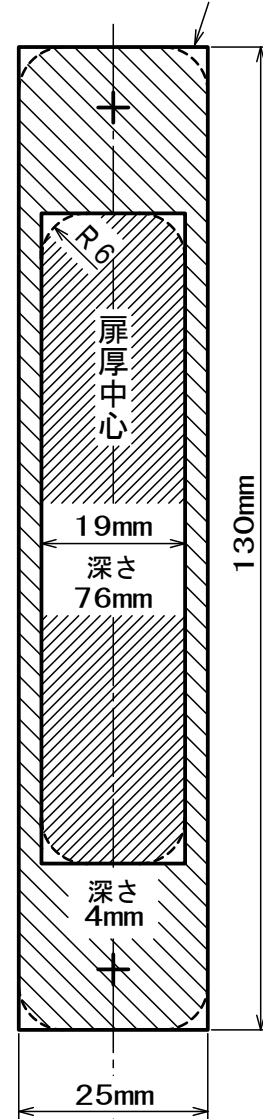


注意

- ・ドア表面の穴を先に横手面からの穴を後に加工して下さい。
- ・チューブラ錠の場合、錠本体が入る穴の加工が大きすぎると使用時、錠本体に負担がかかりやすくなり重大な故障の原因になりますので、必ず指定寸法 (φ24mm) で加工して下さい。
- ・錠本体の入る丸穴やフロントは、真っ直ぐに加工して下さい。

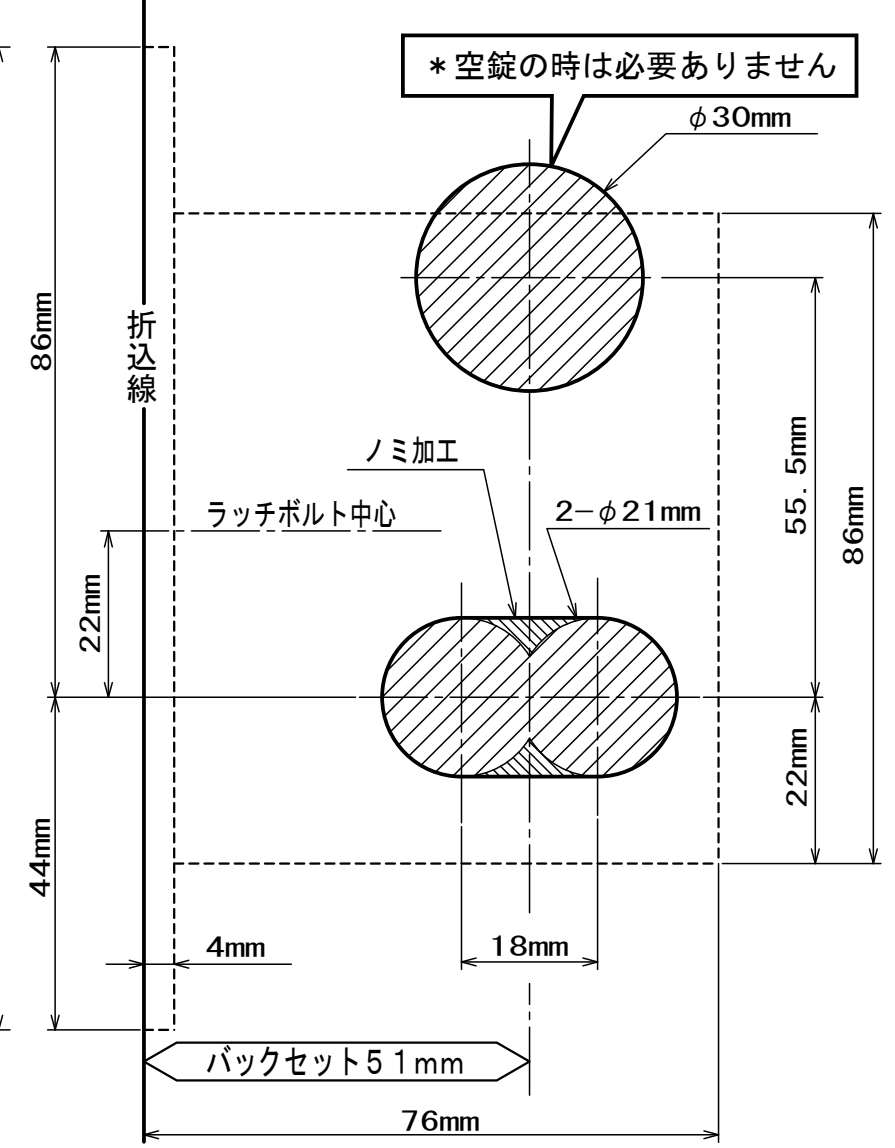


フロントの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工して下さい



ケースロック

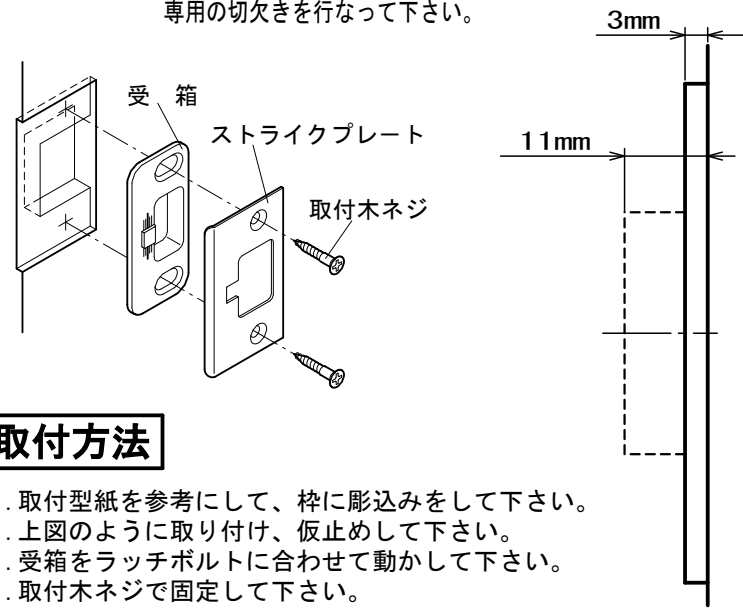
使用可能扉厚 33~40mm



注意 ケースロックの厚みに合わせて19mmで彫込んで下さい。彫込みが広すぎると、ケースロックとドアの隙間が大きくなるため、座の取付けるネジを強く締むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。

調整ストライク (S25) 標準品取付図

オプション品をご使用になる場合は、専用の切欠きを行なって下さい。



取付方法

1. 取付型紙を参考にして、枠に彫込みをして下さい。
2. 上図のように取り付け、仮止めして下さい。
3. 受箱をラッチボルトに合わせて動かして下さい。
4. 取付木ネジで固定して下さい。

ストライクの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工して下さい



- ※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。
- ※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意ください。

受箱の調整方法

